

12か国の保健人材が学びあい 持続可能な開発目標（SDGs）に向けて 韓国延世大、琉大と JICA が初の合同講義

独立行政法人国際協力機構 沖縄センター（JICA 沖縄）は、2018年9月27日（木）に国立大学法人琉球大学医学部保健学科および韓国・延世（よんせ）大学との合同講義を開催します。

本講義は、JICA 沖縄と琉球大学の「連携協力の推進にかかる覚書」に基づく活動の一環として、琉球大学医学部において客員教授を務める韓国・延世大学校公衆衛生学部のナム先生のチームとのコラボレーションにより、延世大・琉球大・JICA 沖縄が合同講義を開催し、学生と研修員（開発途上国の保健医療分野に従事する行政官や看護師など）が学びあう目的で開催するものです。

具体的には、①世界における学校保健の潮流（琉球大）、②世界におけるヘルシーシティの潮流（延世大）、③ペルーにおける母子保健プロジェクト（延世大）、④ラオスにおける母子保健プロジェクト（琉球大）、⑤コンゴ民主共和国における母子保健プロジェクト（延世大）の講義聴講、ならびに⑥総合討議を予定しており、JICA 沖縄の保健医療分野研修員、琉球大医学部保健学科、延世大公衆衛生学部の教員や学生が参加します。

延世大は、韓国の外交部（日本の外務省に相当）下で国際協力を実施する韓国国際協力団（Korea International Cooperation Agency, KOICA）に協力して途上国の課題解決に取り組んでおり、今回の講義もその活動に基づいて行います。

開発途上国では妊産婦および新生児の高い死亡率や保健サービスへのアクセス改善が課題になっています。また、今年県内で発生した麻疹（はしか）のほか、国境を超える感染症への対策および公衆衛生活動の推進は先進国においても共通する取り組みです。

JICA 沖縄は、開発途上国の課題解決とともに、「持続可能な開発目標（SDGs）」（注）の目標3である「すべての人に健康と福祉を」の達成に向けて努力しているところですが、日本のみならず、韓国の取り組みを学び、協力の質を高める一助としたいと考えます。

つきましては、合同講義を下記により開催しますので、是非取材をお願いします。

記

1. 日時：2018年9月27日（木）9:00～15:00
2. 場所：琉球大学医学部保健学科 213 教室
（西原長字上原 207 番地）
3. 参加者：
 - （1）延世大学校 公衆衛生学部 ナム（Nam Eun Woo）教授 他、教員と学生 8 人
 - （2）琉球大学 医学部保健学科 小林 潤教授 ほか教員と学生
 - （3）株式会社ティーエーネットワーク
国内事業部 土屋 克成部長ほか同社スタッフ
 - （4）JICA 研修員

- ・「公衆衛生活動による母子保健強化 (A)」コース
5 カ国 9 名：ブルンジ、ナイジェリア、シエラレオネ、スーダン、日本*
(*日本人学生は、JICA 沖縄の「グローバル人材育成プログラム」により研修に参加)
- ・「地域保健システム強化による感染症対策 (A)」コース
7 カ国 9 名：コンゴ民主共和国、ケニア、リベリア、マラウィ、ミャンマー、ナイジェリア、パキスタン

以上

注：持続可能な開発目標 (SDGs)

2015 年 9 月、ニューヨーク国連本部において「国連持続可能な開発サミット」が開催され、193 の加盟国によって「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が全会一致にて採択されました。2030 アジェンダでは、ミレニアム開発目標 (MDGs) の後継である新たな目標として「持続可能な開発目標 (SDGs)」を掲げています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための 17 の目標



(参考)

- ・ JICA の web サイト：

<https://www.jica.go.jp/aboutoda/sdgs/index.html>

- ・ 国連開発計画 (UNDP) 駐日代表事務所の web サイト：

<http://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home/sustainable-development-goals.html>

【本件問い合わせ先】

JICA 沖縄国際センター 研修業務課

仲間 尚子 E-mail: Nakama.Naoko@jica.go.jp TEL : 098-876-6000 FAX : 098-876-6014